

2019 年度後期中間試験

注意：各 10 点。答案用紙の表に問 1, 裏に問 2 の解答を書くこと。

[1]  $\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3, \mathbf{u}_4$  を  $\mathbf{R}^4$  の基底とし,  $f$  を次の対応をもつ  $\mathbf{R}^4$  上の線形変換とする。

- $f(\mathbf{u}_1 - \mathbf{u}_2) = \mathbf{u}_1 - \mathbf{u}_2,$
- $f(\mathbf{u}_2 - \mathbf{u}_3) = \mathbf{u}_2 - \mathbf{u}_3,$
- $f(\mathbf{u}_3 - \mathbf{u}_4) = -\mathbf{u}_1 - \mathbf{u}_2 - 2\mathbf{u}_4,$
- $f(2\mathbf{u}_4 - \mathbf{u}_1) = \mathbf{u}_1 + 2\mathbf{u}_2 + 2\mathbf{u}_3 + 5\mathbf{u}_4.$

このとき, 次の間に答えよ。

注意 1 : (2) の解答は説明も書くこと。その他の解答は答えのみでもよい。

注意 2 :  $\{\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3, \mathbf{e}_4\}$  を  $\mathbf{R}^4$  の標準基底とする。

- (1)  $f(\mathbf{u}_1), f(\mathbf{u}_2), f(\mathbf{u}_3), f(\mathbf{u}_4)$  を  $\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3, \mathbf{u}_4$  を用いて表せ。
- (2)  $\{f(\mathbf{u}_1), f(\mathbf{u}_2), f(\mathbf{u}_3), f(\mathbf{u}_4)\}$  の中からできるだけ多くの線形独立なベクトルの組を選べ。
- (3)  $f(\mathbf{R}^4)$  の次元と基底を求めよ。
- (4)  $f^{-1}(\mathbf{0})$  の次元と基底を求めよ。
- (5)  $\mathbf{u}_i = \mathbf{e}_i$  とする ( $1 \leq i \leq 4$ )。このとき,  $f$  を表す行列  $A$  を求めよ。

[2]  $\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_4 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \\ 3 \end{pmatrix}, \mathbf{a}_5 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix},$

$W_1 = \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4 \rangle, W_2 = \langle \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_5 \rangle, A = (\mathbf{a}_1 \mathbf{a}_2 \mathbf{a}_3 \mathbf{a}_4)$  とする。

このとき, 次の間に答えよ。

注意：解答は答えのみでもよい。

- (1)  $W_1$  の次元と基底を求めよ。
- (2)  $W_2$  の次元と基底を求めよ。
- (3)  $W_1 \cap W_2$  の次元と基底を求めよ。
- (4)  $W_3 = \{x \in \mathbf{R}^4 : Ax = \mathbf{0}\}$  の次元と基底を求めよ。
- (5)  $W_4 = \{Ax : x \in \mathbf{R}^4\}$  の次元と基底を求めよ。

[1] (1)  $f(\mathbf{u}_1) = \mathbf{u}_1 + \mathbf{u}_4, f(\mathbf{u}_2) = \mathbf{u}_2 + \mathbf{u}_4, f(\mathbf{u}_3) = \mathbf{u}_3 + \mathbf{u}_4, f(\mathbf{u}_4) = \mathbf{u}_1 + \mathbf{u}_2 + \mathbf{u}_3 + 3\mathbf{u}_4$

(2) (証明略) 例えば,  $\{f(\mathbf{u}_1), f(\mathbf{u}_2), f(\mathbf{u}_3)\}$

(3) 次元 3, 基底  $\{f(\mathbf{u}_1), f(\mathbf{u}_2), f(\mathbf{u}_3)\}$

(4) 次元 1, 基底  $\{-\mathbf{u}_1 - \mathbf{u}_2 - \mathbf{u}_3 + \mathbf{u}_4\}$

$$(5) A = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 3 \end{pmatrix}$$

[2] (1)  $\dim W_1 = 3$ .  $W_1$  の基底として,  $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$  がとれる.

(2)  $\dim W_2 = 3$ .  $W_2$  の基底として,  $\{\mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_5\}$  がとれる.

(3)  $W_1$  は  $x + y + z - w = 0$  上の頂点集合,  $W_2$  は  $x = 0$  上の頂点集合.

よって,  $\dim (W_1 \cap W_2) = 2$ .  $W_1 \cap W_2$  の基底として,  $\{\mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$  がとれる.

$$(4) \dim W_3 = 1. W_3 \text{ の基底として, } \begin{pmatrix} -1 \\ -1 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} \text{ がとれる.}$$

(5)  $\dim W_4 = 3$ .  $W_4$  の基底として,  $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$  がとれる.